

磐田卓球協会

加盟チーム数 74チーム
加盟人数 2,075人
代表者 大庭 正裕
創立年月 昭和53年7月

<組織>

磐田市及びその周辺地域の企業、クラブチーム、高等学校、中学校、スポーツ少年団等団体と個人の加盟を以って組織する。

<役員名簿>(平成30年4月現在)

会 長	大庭正裕
副 会 長	仲村保宣 海野嘉明 田中赫子
参 与	儘下高育
顧 問	片岡繁輝 内山 毅 尾高利男
理 事 長	永井睦人
副理事長	池島弘典 佐久間民子
事務局長	中嶋英明
総 務	中田伯良
理 事	川合修平 三室康史 太田修司 内藤慎吾 松下連弥 鈴木千恵 石川史江 牧野しのぶ 高橋由紀子 安間千代子 荒井孝子 村木由起 実淵玲奈 袴田由加里 永井舞香 水谷万記子
会計監査	鈴木重晴

<卓球協会概要>

昭和53年7月 磐田信用金庫、NTN磐田、ヤマハ発動機、磐田市役所等々の卓球関係者・地域の卓球愛好者により、磐田卓球協会が設立され、平成31年創立40周年を迎えます。

平成20年代より、スポーツ少年団の活躍で全日本卓球選手権大会において団体戦・個人戦で優勝することが出来ました。その後、毎年のように好成績を収め、順調に成長しました。平成28年リオ五輪では、水谷隼選手・伊藤美誠選手が団体戦・個人戦で銀・銅メダルを獲得しました。同年9月には、磐田市・体育協会のもと、磐田駅から市役所まで凱旋パレードが行われ、商店街を3万1千人の市民が沿道を埋め尽くしました。



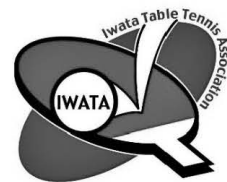
平成28年9月3日凱旋パレード

市内のこのようなパレードはサッカー「ジュビロ磐田」の優勝以来、2度目のことでした。

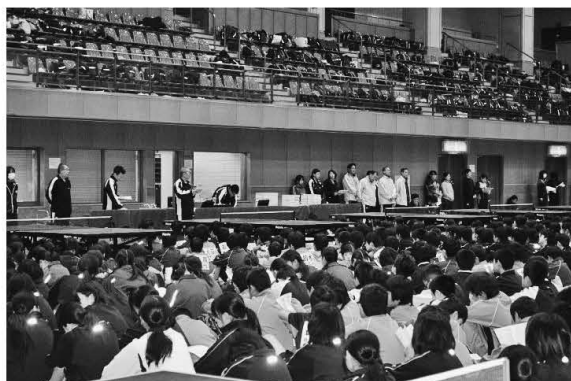
水谷隼選手・伊藤美誠選手をはじめとする磐田市出身者が、全日本卓球選手権大会・世界選手権及び東京五輪での活躍が期待されています。また、このような選手の活躍は、磐田市・磐田市体育協会のご支援の賜物だと思っています。今後とも微力ながら努力してまいります。

<現在の活動状況>

毎年、各関係団体からのご支援により、定期的に大会を実施しています。特色のある大会のひとつとして、平成25年6月8日アミューズ豊田にて、前期日本卓球リーグ・ホームマッチ磐田大会、「アスモ(現デンソー)対サンリツ」の試合を主管しました。



毎年新年早々の大会「いわしん理事長杯争奪卓球大会」は、県内外の小中高校生及び一般までの幅広い年代層の参加を頂き、個人戦とダブルス戦を実施しています。また、「ジュピロ杯争奪小笠・磐周中学生卓球大会」は小笠・磐周地区の中学生の強化を目標に、掛川・袋井・磐田の3協会の持ち回りで実施しています。



平成28年11月12日ジュピロ杯

また、無料卓球教室を月2回開催しています。老若男女を問わず『ゲームができるまで・卓球を楽しむことができるまで』を目標に活動中です。



無料卓球教室風景

平成30年3月磐田卓球場「ラリーナ」(全国でも珍しい卓球専用体育館)が完成いたしました。磐田市・磐田市体育協会、豊田町卓球スポーツ少年団指導者の水谷信雄氏、磐田卓球協会前会長儘下高育氏をはじめ、多くの方のご尽力によるものです。



平成30年3月21日完成記念式典

総合体育館を含め、ハード面では充実しつつありますが、ソフト面で卓球場ラリーナ』との関わり方が今後の課題でもあります。

本年度は試行的ではありますが、中学生の強化と指導者育成講習会を開催します。将来は地元出身の卓球経験者を講師に技術指導及び指導者育成講習会を定期的に開催することができたらと考えています。

<平成30年度協会主管大会>

- 全日本選手権大会(カデットの部)西部地区予選
- 全日本選手権大会(ダブルスの部)県予選
- ジュピロ杯争奪小笠・磐周中学生卓球大会

<協会主催大会>

- 第40回会長杯争奪卓球大会
- 第40回TSP杯争奪卓球大会
- 第61回磐田市民卓球大会
- 第40回ニッタク杯争奪卓球大会
- 第4回バタフライ・ダブルスカップ
- 第28回いわしん理事長杯争奪卓球大会
- 第27回セントラル杯争奪卓球大会